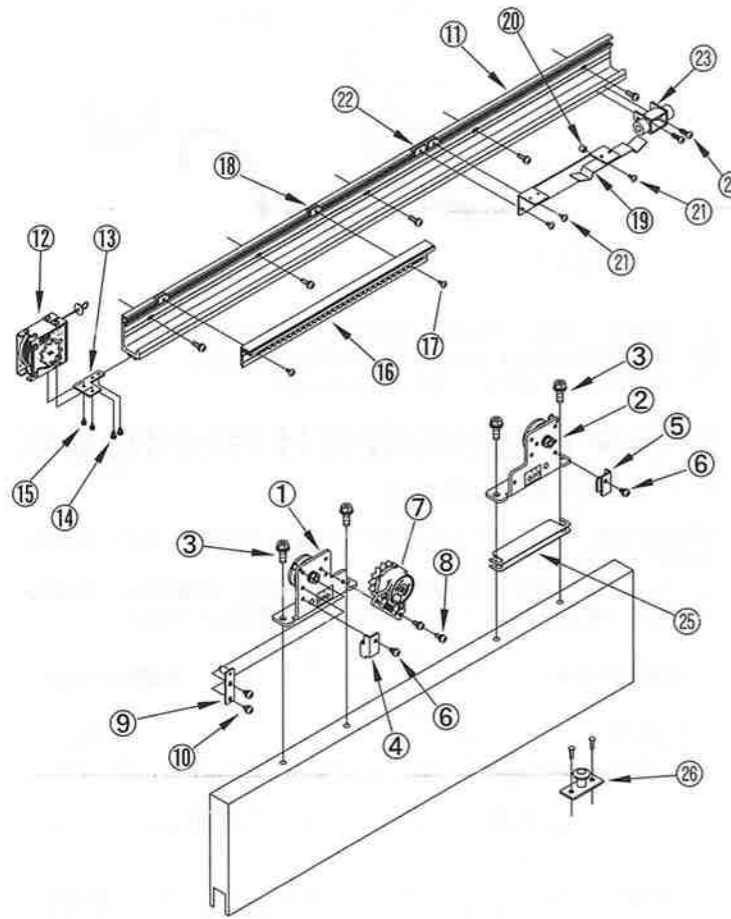


カムスライダ 水平式 NSC-C38/C48/C815B/C88-BX型 取付説明書



部品明細

※ 部品は右開き、左開き兼用です。本図は右開きを示します。



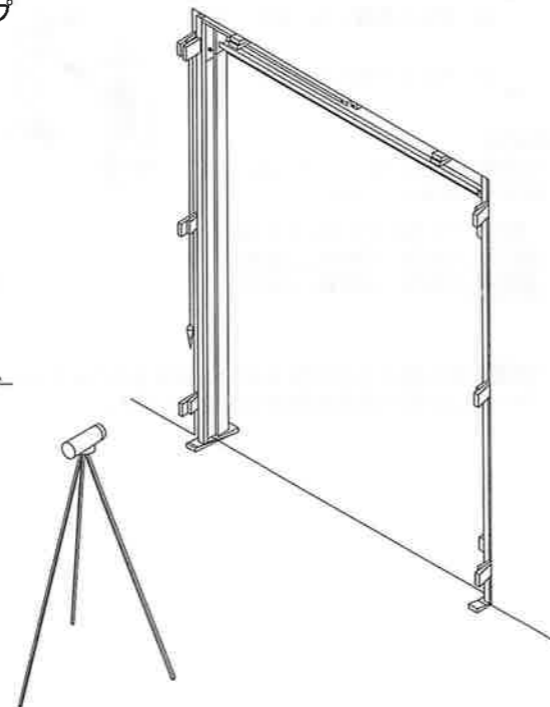
No.	部品名称	数量	備考
①	ハンガーA	1	現場取付
②	ハンガーB	1	"
③	平+バネ座金組込十字穴付き六角ボルト M8×25	4	"
④	戸外れ防止金具A	1	"
⑤	戸外れ防止金具B	1	"
⑥	平+バネ座金組込なべ小ねじ M5×8	2	"
⑦	制動装置	1	"
⑧	平+バネ座金組込なべ小ねじ M5×12	2	"
⑨	ストップローラ	1	"
⑩	平+バネ座金組込なべ小ねじ M5×8	2	"
⑪	アルミレール	1	工場取付
⑫	引込バネ	1	"
⑬	引込バネ取付金具	1	"
⑭	なべ小ねじ M4×5	2	"
⑮	平+バネ座金組込なべ小ねじ M3×8	2	"
⑯	制動ラックセット	1	"
⑰	トラス小ねじ M4×8	2	"
⑱	プレートナット	2	"
⑲	板バネ	1	"
⑳	振れ止めポスト	1	"
㉑	トラス小ねじ M4×8	3	"
㉒	プレートナット	2	"
㉓	戸当り金具	1	"
㉔	タッピンねじなべ 2種溝付き φ5×16	2	"
㉕	高さ調整ライナー(t=1.0)	4	別途梱包
㉖	ガイドローラ(取付ねじ含む)	1	"

部品を取付する前に(枠の取付)

枠の取付は下表の許容差を厳守し、以下の手順に従って取付して下さい。
【注意】許容差から外れると、引戸が閉まりきらなかったり、全開時にストップしなかったりする恐れがあります。

- 開口部の確認
それぞれの開口寸法が施工図面と合っているか確認して下さい。
- 墨出し
陸墨等を基準に施工図面から取付用の墨出しをして下さい。
- 枠の組立
角材を置き、縦枠・無目(上枠)を配置して下さい。
縦枠と無目(上枠)を付属のねじ又はボルトにて締結して組立て下さい。
- 枠の取付
枠の固定は、仮止め用くさびを用いて位置調整を行い、下げ振り、水準器(レーザー)などで水平・垂直・対角を微調整して溶接固定して下さい。
(溶接の火で建具を傷つけないよう注意する事)
※アルミレールの水平は、水平又は戸先側下がり(-2.0mmまで)とする。

枠の取付許容差	
・アルミレールの水平	戸先側 +0 -2.0mm
・出入り	±1.0mm
・左右のずれ	±1.0mm
・倒れ	±1.0mm
・対角差	2.0mm以内



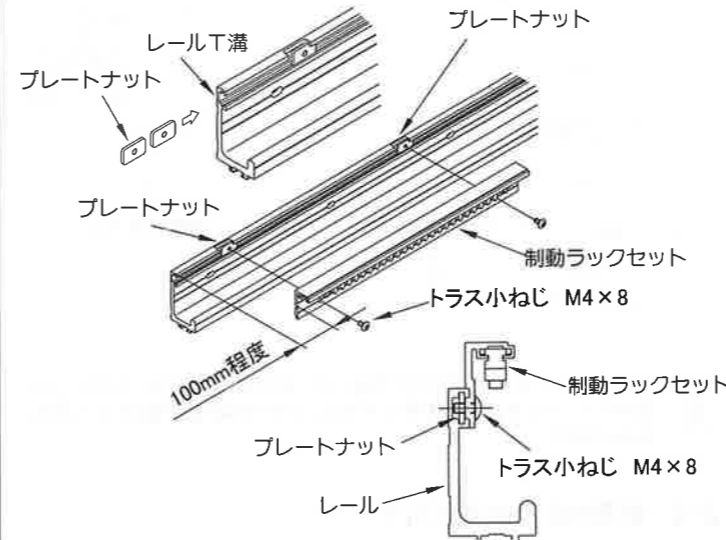
取付手順 (本図は右開きを示します。左開きは本図と対称になります。)

1 枠側部品(レール側)の取付け

枠側部品を現場にて取付する場合は、以下の取付手順に従って取付して下さい。
枠側部品が既に取り付けられている場合は、2 扉の吊り込み手順へ進んで下さい。

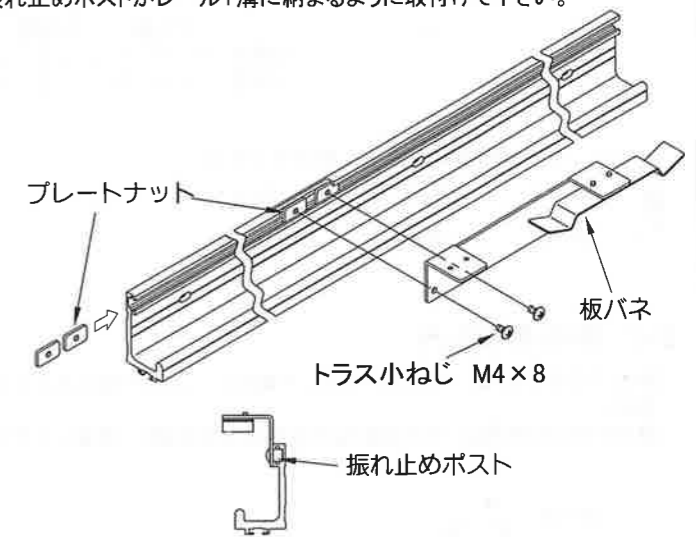
1-1 制動ラックセットの取付け

・レールのT溝にプレートナット(2ヶ)を挿入して下さい。
・プレートナットの位置を、制動ラックセットの取付穴位置に合わせ、付属のねじ(トラス小ねじ M4×8)で制動ラックセットを取付けて下さい。



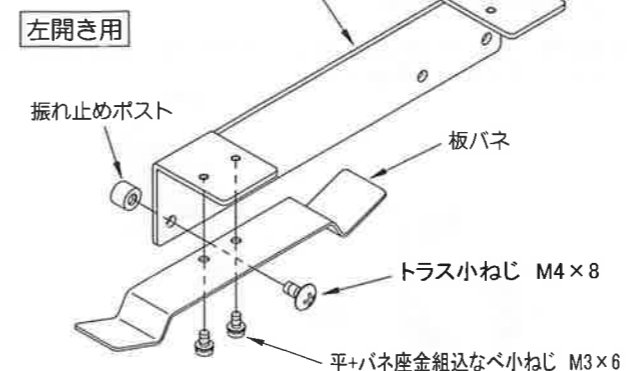
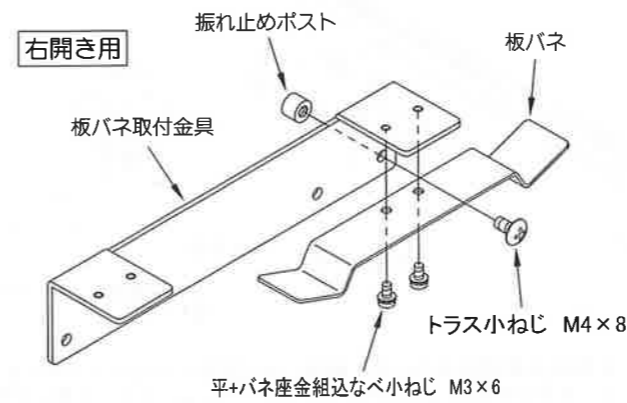
1-3 全開ストップバネの取付け(板バネの取付)

・レールのT溝にプレートナットを挿入し、板バネを付属のねじ(トラス小ねじ M4×8)で、枠開口部位置となるように仮止めして下さい。
(位置調整は、扉吊り込み後に行います)
・振れ止めポストがレールT溝に納まるように取付けて下さい。



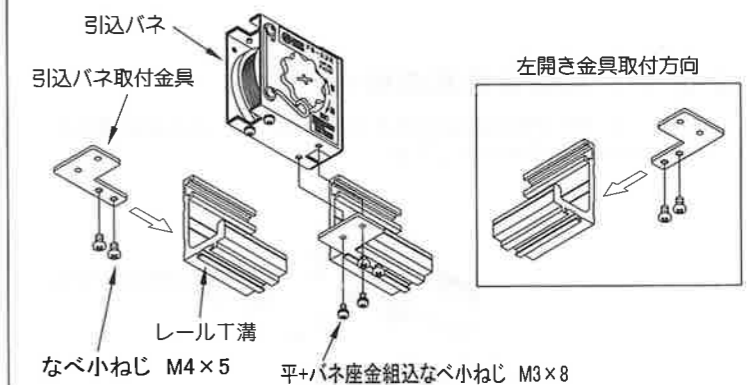
1-2 全開ストップバネの取付け(板バネの組立)

・下図に従い、開き勝手に合わせ、板バネ取付金具に振れ止めポスト、板バネを取付けて下さい。



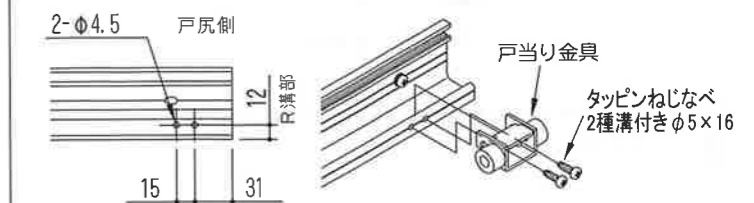
1-4 引込バネの取付け

・引込バネ取付金具に付属のねじ(なべ小ねじ M4×5)を仮締めし、レール下側のT溝に挿入して下さい。
・ねじを締め付け金具を固定して下さい。
・引込バネを付属のねじ(平+バネ座金組込なべ小ねじ M3×8)で、引込バネ取付金具に取付けて下さい。



1-5 戸当りの取付け ※壁納まりの場合は不要(別途戸当り)

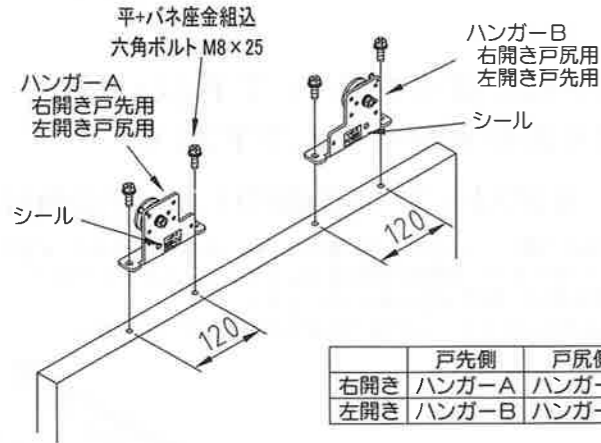
・下図の寸法に従い、レール戸尻側に戸当り金具取付け用の穴(φ4.5 2カ所)を追加加工して下さい。
・レールのφ4.5穴部と戸当り金具の穴部を合わせ、付属のねじ(タッピンねじなべ 2種溝付き φ5×16)で戸当り金具を固定して下さい。



2 扉の吊り込み

2-1 ハンガーの取付け

- 図のようにハンガーA、ハンガーBを取付けて下さい。
- ハンガーに貼り付けてあるシールに従い、下表の向きとなるように取付けて下さい。(標準:高さ調整ライナーなし)



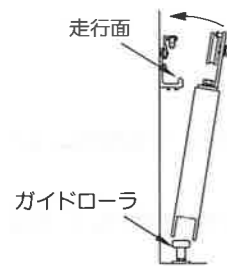
ハンガーは扉の中心線上に取付けて下さい。

良い例

悪い例

2-2 扉の吊り込み

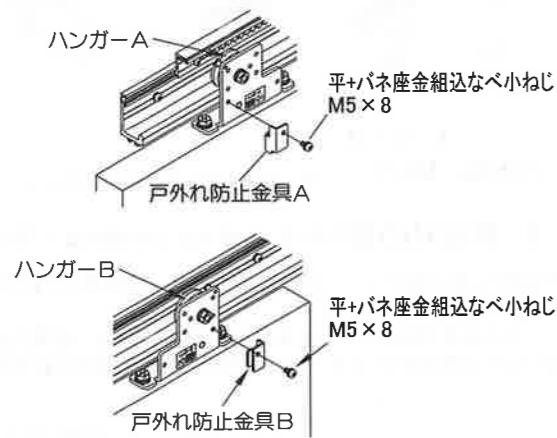
- 扉の下部をガイドローラに合わせて、戸車をレール走行面に吊り込んで下さい。
- 扉と縦枠との隙間は、高さ調整板の使用枚数を増減し、調整して下さい。



制動装置は、必ず扉吊り込み後に取付けて下さい。吊り込みの際、レール等につけて破損する恐れがあります。

2-3 戸外れ防止金具の取付け

- ハンガーA、Bに戸外れ防止金具を付属のねじ(平+パネ座金組込なべ小ねじ M5×8)にて取付けて下さい。



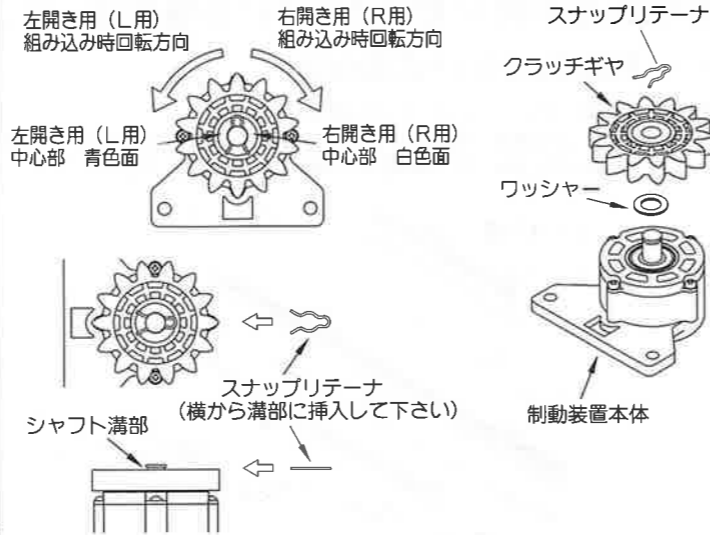
扉が脱落する恐れがありますので、戸外れ防止金具は必ず取付けて下さい。

3 制動装置の取付け

本制動装置は左右勝手兼用です。クラッチギヤの組み込み方向により左右勝手が決まります。

3-1 クラッチギヤの組み込み

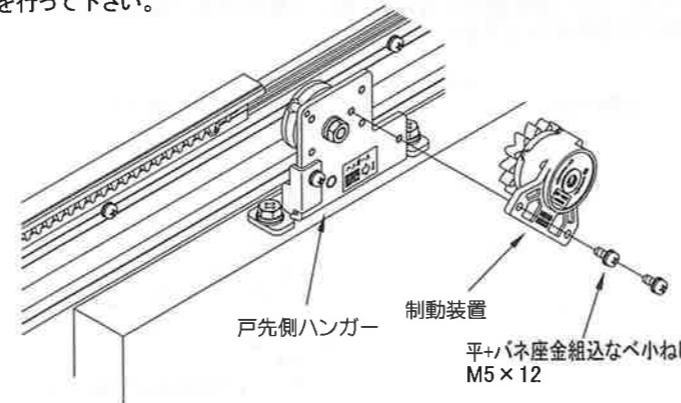
- 図の様に制動装置本体シャフト部にワッシャー、クラッチギヤを挿入し、スナップリテーナで固定して下さい。
- クラッチギヤは、中心部捺印面(右勝手:R捺印面、左勝手:L捺印面)を上側にし、矢印方向に回転させながら挿入して下さい。



クラッチギヤの挿入及び取り外しは、必ず指定の回転方向に回しながら行って下さい。無理に行くと、クラッチギヤが破損する恐れがあります。

3-2 制動装置の取付け

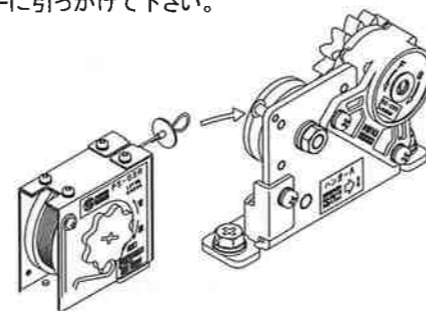
- 制動装置を付属のねじ(平+パネ座金組込なべ小ねじ M5×12)で、戸先側のハンガーに取付けて下さい。
- 制動装置のクラッチギヤと制動ラックの歯が噛み合わない位置で、取付けを行って下さい。



本部品は樹脂部品のため、衝撃により破損するおそれがあります。落下させたり、他の部品につけたりしないように注意して取付けて下さい。

3-3 ワイヤーのセット

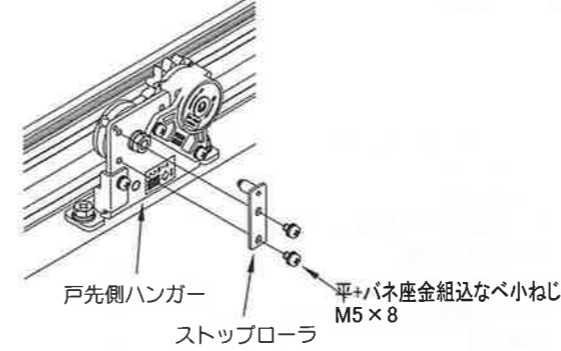
- 制動装置の取付が完了したら、引込バネのワイヤーを引き出し、戸先側のハンガーに引っかけて下さい。



4 全開ストップ装置の取付け

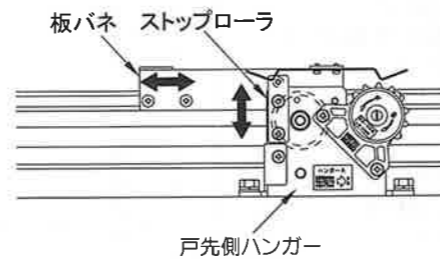
4-1 ストップローラの取付け

- ストップローラを付属のねじ(平+パネ座金組込なべ小ねじ M5×8)で、戸先側ハンガーに取付けて下さい。



4-2 ストップ位置, ストップ力の調整

- 扉全開位置でストップするよう、板バネの位置を調整して下さい。
- 又、ストップローラ位置を上下させて、ストップ力を調整して下さい。



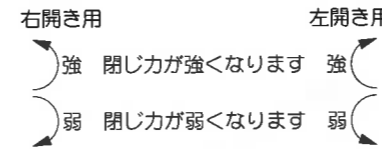
5 閉じ力, 閉じ速度の調整

5-1 閉じ力の調整

- 閉じ力の調整が必要な場合は、ギヤシャフトをマイナスドライバーで回して、調整を行って下さい。
- 調整は必ず下記に従って調整して下さい。(本体ラベルにも記載してあります)

<調整方向>

右開き、左開きで回転方向が違うので注意して下さい。



<調整範囲>

出荷時の設定に対し、必ず下表の範囲内で調整して下さい。

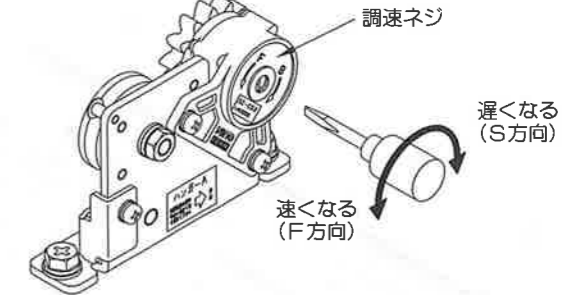
型式	PS-03	PS-04	PS-08
強方向	5回転	5回転	2回転
弱方向	2回転	3回転	2回転

調整範囲を超えての調整は故障の原因となりますので、必ず本体ラベルに記載の調整範囲内で調整して下さい。

5 閉じ力, 閉じ速度の調整

5-2 閉じ時間の調整

- 制動装置の調速ネジをマイナスドライバーで回し、閉じ時間の調整を行って下さい。
- 一般仕様: 開扉900mmからの閉じ時間の目安は7~11秒
- SAT仕様: 制動の効き始め位置からの閉じ時間の目安は8~10秒とし、閉鎖時にドアボトムが着床する事を確認して下さい。



調速ネジは軽い力で回し、突き当たり後は無理に回さないで下さい。

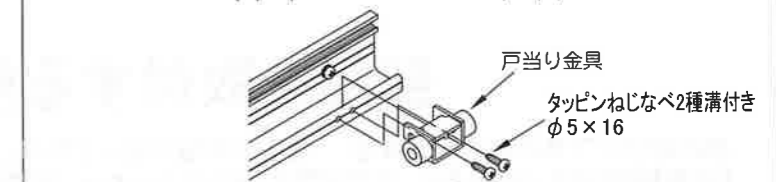
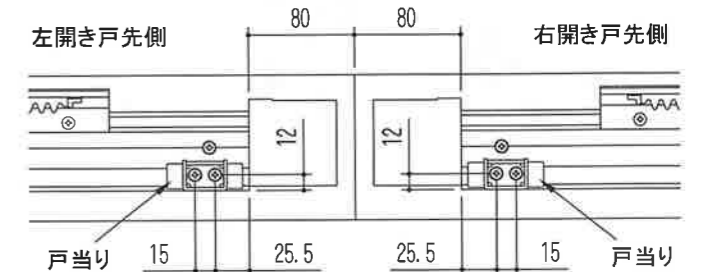
周囲温度の変化により多少閉じ時間が変化します。

温度が高いと速くなり、低いと遅くなります。

6 中央戸当りの取付け(引分けの場合)

6-1 中央戸当りの取付け

- 下図の寸法に従い、レールに中央戸当り取付け用の穴(φ4.5 左右各2カ所)を追加して下さい。
- レールのφ4.5穴部と戸当り金具の穴部を合わせ、付属のねじ(タッピンねじなべ 2種溝付き φ5×16)で戸当り金具を固定して下さい。



7 ストライクの取付け(錠前付きの場合)

7-1 ストライクの位置調整

- 無目に固定されているストライクの位置調整を行い、決めねじ(ドリルねじなべ 呼び4×13)にて固定して下さい。

